

マイクロジオデータ研究会－5年間の活動と今後の展開－

秋山祐樹

Five Years' Activities and Future Plans of the Society for Micro Geodata

Yuki AKIYAMA

1. マイクロジオデータ研究会とは

「マイクロジオデータ（以下「MGD」）」とは位置情報や時間情報を持つジオデータやビッグデータの総称である。著者ほかは産官学様々な領域において MGD の開発、活用、普及を目的とする「マイクロジオデータ研究会」を 2011 年 8 月に発足させ、MGD を活用した研究を展開してきた。

2. これまでの活動

研究会発足当時は MGD がまだ物珍しく、MGD という言葉の普及と、MGD に興味がある研究者や企業など研究パートナーを探すための活動が中心であった。GIS 学会内の特別セッションとして MGD 研究会や MGD 講習会を開催すると同時に、様々な学会やシンポジウムなどで MGD を活用した研究と研究会の紹介を行うなどの活動を継続してきた。

そんな地道な活動は次第に様々な研究パートナーとのネットワーク構築に成功し、近年では既存の各種統計・空間データでは実現し得なかった研究が数多く実現しつつある。特に日本全国の高精細な地震被害推定を実現した「震災ビッグデータ」や、将来の生活困難地域（Life Desert）の分布推定などの研究は、テレビや雑誌等のメディアでの紹介や研究成果の書籍化、また韓国国土研究院との国際共同研究にも繋がっている。

さらに東京大学空間情報科学研究センターの共同研究利用システム（JoRAS）やデータ統合・解析システム（DIAS）等を通じた MGD の配信や、一部データの商品化により、MGD の普及や関連する研究の推進にも貢献し続けている。

3. 今後の展開

今後はこれまでの活動に加えて、更に以下の内容に力を入れて活動を展開していきたい。

1) 「研究」から「実用」へ

実空間の具体的な課題に直接的にコミットする。具体的な課題として「防災」、「地域経済」、「レジリエンス」、「スマートシティ」などのキーワードを想定している。

2) 国際展開

MGD は近年国際的な注目も高まりつつある。特に先進国では様々な時空間データが我が国と同様に整備されつつあり、MGD を活用した研究・ビジネスのチャンスは大きい。

3) 新しい研究パートナーの発掘

これまでも継続してきた活動であるが、今後は上記 1), 2) の実現に向けて、特に企業や地方自治体などより「実用の現場」に近い方々とのコラボレーションが不可欠となる。

ご自身の研究に MGD を活用してみたい方、具体的な課題を持っており MGD が活用できそうだと感じた方、そして今まさに MGD 実用の現場にいる方など、MGD を活用した研究に興味がある方は、是非著者にご一報頂きたい。

秋山祐樹 〒277-8568 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

東京大学柏キャンパス 総合研究棟 4 階 404 号室

Phone: 04-7136-4297

E-mail: aki@csis.u-tokyo.ac.jp